

5. 学生の受け入れ

大学・学部の学生の受け入れは、多様な高校教育課程に応じた複数の入学者選抜方法を採用し、各学部の理念・目的に応じて、工学部と情報工学部はエレクトロニクスとコンピュータの技術者育成を教育目標としていることから理工系志望の学生を、また、社会環境学部では人文・社会系の立場から環境問題を解決できる人材の育成を教育目標としていることから人文・社会系志望の学生を受け入れている。

入学者受け入れ方針の基本である毎年度の入学定員は、臨時定員の削減や理工系志望者の大幅減等に対処した本学のマスタープランに基づき、当該委員会と全学教授会を経て適切に決定する。特に、入学試験においては、公正でかつ厳正な入学選抜を行い、入学試験委員会・各学部教授会を経て適切に実施することを目標とする。定員管理の目標は、入学定員の 1.3 倍以内、および収容定員に対する在籍学生数比率も 1.3 倍以内であることとする。

大学院工学研究科においては、学部教育に引き続き、より高い学識と技術開発能力を備えた電子・情報系の高度専門技術者や研究者を育成するために、学部からの内部進学者を中心に、社会人や留学生などの幅広い層からも学生を受け入れるとともに、定員管理については、総入学定員の充足を目標とする。

(一) 学部における学生の受け入れ

本学は、学生の受け入れに関しては、各学部が協力して全学組織の入学試験委員会で審議し、各学部教授会で決定して実施していることから、以下では、工学部、情報工学部および社会環境学部の共通事項として 3 学部をまとめて自己点検・評価するが、必要に応じて学部ごとに自己点検・評価する。

(1) 学生募集方法、入学者選抜方法

(1)-1 学生募集方法

学生募集については、たとえばテレビ・ラジオ等のマスメディアの利用、受験情報誌、新聞等への広告、キャンパス見学会、本学主催の説明会、高等学校主催の説明会、他大学との合同説明会、さらに全教職員による高等学校進路指導部への訪問等を実施している。

特に、年 2 回のキャンパス見学会では、本学の充実した教育研究設備の公開、および教員の研究室公開による先端技術の紹介等は毎回好評であるとの感触を得ている。また、ホームページについては、年々アクセス数が増加していることから、受験情報を始め、学園の最新情報を紹介したキャンパスメール等により、「情報・環境・モノづくりの福岡工業学」としてのイメージアップに寄与するように工夫してある。さらに、学外からの講演会等も企画され、たとえば平成 15 年に 3 名のノーベル賞受賞者を招いた「ノーベル賞フォーラム」